

Goodbye Matsuura ! -松浦市、さようなら-



アンドリュー・マイケセル

Andrew Mikesell

アメリカ出身

とうとう帰国する時が来ました。この4年間、松浦市に住むのは楽しかったですが、将来の目標に向かって進む時になりました。松浦での勤務終了後は、アメリカに帰って大学院へ進むつもりです。その後、できれば大学の教授になりたいです。

よく「なぜ松浦に来ましたか？」と質問を受けました。本当は松浦に来るまで松浦市について全く知りませんでした。The JET Program「語学指導などを行う外国青年招致事業」がALT「外国語指導助手」の配置を決めるようになっていきます。すなわち、松浦に来ることは僕が決めたことではありません。それがいい経験でした。次によく受けた質問は「なぜ日本に来ましたか？」この質問はもっと簡単に答えられます。まず僕は子どものころから日本に興味があって、大学で日本語を学び、日本語をもっと上手に話せるようになりたかったということと、英語とほかの言語を教えることについて興味があるからです。将来は言語学の教授になりたいので、日本語を学ぶこと、言語を教える経験を持つという二つの目標を達成することができました。

僕は松浦での4年間を忘れません。ここで二人の子どもが生まれました。綺麗な海で魚釣りや水泳も本当に楽しみました。海のないユタ州に帰った時は海を本当に懐かしく思うことでしょう。僕にとって海で遊ぶのは新しい経験でした。去年、松浦龍王太鼓団に入り、すごく楽しい経験となりました。太鼓を叩くことはもちろん楽しいのですが、それ以上に良かったのが多くの素晴らしい人たちと出会えたことです。最後の演技として今年のお盆でも叩くつもりです。さよならを言う前に楽しい思い出を作りたいものです。

松浦では親切な人々にいろいろと助けられ、お土産をもらったり、家に招待されたこともありました。お世話になった皆さんには本当に心の底から感謝しています。本当にありがとうございました。



きらポン

図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『ナシヨジオが行って見た究極の洞窟』

日経ナショナルジオグラフィック社

地球の内側に皆さんをご案内します。比較対象に描かれたジャンボジェットが小さく見えるほど圧倒的な大きさの洞窟や、光を反射して神秘的な光景を作る氷柱。選び抜かれた究極の洞窟にページをめくるとび感動の溜息が出ます。



『えほん 障害者権利条約』

ふじいかつり / さく
里 圭 / 絵 汐文社

障害がある人が住みよい社会は、誰もが住みよい社会。そんな社会を目指すために、知ることから始めませんか？

2014年に日本にやってきた障害者権利条約の大切さ、目指す社会を絵本で紹介します。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



今福町東免の松本美代子さんと
昊大ちゃん (5歳)

【お気に入りの本】

『妖怪交通安全』 広瀬 克也 / 作 絵本館

【お母さんからひとこと】

夜、寝る前に手のひら絵本をしています（手のひらをひらいて、本を読むポーズで自分で物語を作って話します）。最近では息子の方が上手です。今日は今晚の手のひら絵本のネタ探しに図書館へ来てみました。ちょうど、おはなし会の時間だったので参加しました。今晚の息子のお話しのできが楽しみです！

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしています！

中世の松浦（77） 鷹島海底遺跡

5月11日から13日にかけて、国立海洋文化財研究所などの視察のため、市長が韓国を訪問しました。

視察の目的は、本市鷹島を水中考古学の拠点とすべく、国の専門機関の誘致や市で計画している博物館機能を備えた施設整備に向けた情報収集のためです。

韓国南西部に位置する、木浦市の国立海洋文化財研究所は、韓国における水中考古学調査・研究の専門機関で、アジア地域において先進的な取り組みが行われています。

韓国では、1975年に発見された新安沖の沈没船の調査を契機に、海底の沈没船などの発掘調査が行われています。この新安沈没船は、中国の慶元（現在の寧波）を出航して、日本の博多に向かっていた14世紀前半の貿易船であることがわかっていきます。28ト余りの銅銭、2万点余りの陶磁器などが発見され、世界的なニュースになりました。

研究所では、その新安海底から出土した船をはじめとする、多くの遺物が保存処理を終え展示されています。特に、新安船は、船首の構造が分かるなど当時の構造・技術・造船史上でも貴重な物でした。

一方、忠清南道泰安では、2007年イイダコ漁で高麗青磁が発見されたことがきっかけとなり調査が行われ、その結果、多量の遺物が引き揚げられています。2011年には泰安保存センターが建設されており、遺物の保存処理が行われています。現在、その近隣の場所には新たな展示施設の建設も進んでおり、2017年に完成することでした。

韓国では、約20カ所で水中遺跡の発掘調査が行われており、その中で10隻以上の船が引き揚げられています。今回、得た情報を基に、本市における水中考古学の拠点を目指し、活用策を検討していきます。



▲国立海洋文化財研究所 新安船船首部分

あなたの健康お手伝いします



いきいき松浦21（第2次）の紹介
～栄養・食生活について～

市報6月号で松浦市健康づくり総合計画の概要についてご紹介いたしました。7月号からは、健康分野ごとに市民の皆さまに実践していただきたいことを紹介していきます。

問合せ先＝健康ほけん課健康推進係
☎内線129・166

松浦市民健康づくり 10の心得

- 1つめ 「野菜は毎食必ず食べる」
- 2つめ 「一手間かけた料理を作る」

Q.なぜ「野菜は毎食必ず食べる」のでしょうか？

A.個人の生活スタイルが多様化してきており、朝食の欠食、間食や夜食の摂り過ぎによって栄養バランスが偏ることで、肥満や生活習慣病の発症が問題となっています。生活習慣病を予防し、健康な生活を維持するために、国では野菜を毎日350g以上とることを目標に掲げています。その目標に近づけるために、まずは毎食野菜を取り入れる工夫をしましょう。

Q.なぜ「一手間かけた料理を作る」のでしょうか？

A.加工食品やインスタント食品の充実により、脂質や塩分の過剰摂取など栄養バランスの偏りが心配されます。不足しやすい食物繊維やビタミン類が摂れる料理を加え、バランスのとれた食事を心がけましょう。

Q.具体的にはどんなことに取り組みればいいのですか？

A.市の健康づくり対策としては、肥満予防とバランスのとれた食生活の推進に取り組み、正しい知識の啓発と食事バランスガイドの普及を行なっていきます。また、市民一人一人が栄養・食生活について取り組むこととして、具体的に以下のことを実践しましょう。

- ・野菜を1日350g以上食べる。
- ・今の食事に野菜を一皿プラスする。
- ・食に関する講座やイベントに進んで参加する。
- ・間食、外食の時には栄養表示を意識する。
- ・外食の時もメニューの組み合わせを考える。
- ・旬の野菜を使う。
- ・野菜を使った料理を学ぶ。